

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課
 【住所】芦別市北1条東1丁目3番地
 【電話】0124-22-2111・【ファクス】0124-22-9696
 【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

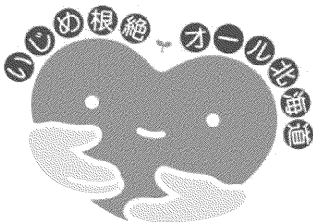
『いじめ』をなくすために…

本市では、『いじめ』をなくすための取組として、市内の学校の取組等について交流をしたり対応策や課題について話し合うことを目的に、平成23年度から芦別市仲間づくり「子ども会議」を開催しています。

今年度は平成29年1月25日に開催され、北海道教育委員会主催の「どさんこ☆子ども全道サミット」に参加した生徒からの報告や「いじめのない学校づくりのためにできること」について、市内小中学校と芦別高校・星槎国際高校の代表が活発なグループ協議を行いました。各代表がこの会議で話し合った内容を学校に持ち帰り、今後の取り組みに生かされます。



芦別市仲間づくり「子ども会議」の中で各学校の取組を紹介するポスターを作成していただきましたので、ご紹介します。



笑顔で明るく楽しい芦小

芦別市立芦別小学校

- ・学級・学年・学校と友だち関係を深め、おたがいを知り交流を深めます。
- ・元気の挨拶でおたがいの絆を深め、楽しい芦別小学校にします。

取り組んだこと

- ・たてわり班活動(前・後期集会/清掃)
- ・あいさつ運動(児童会三役・生活委員)



芦別小学校

咲かせよう 笑顔の花

芦別市立上芦別小学校

〈テーマの意味〉
いじめをなくして、笑顔の花のように咲かせましょう！
 〈上小での取り組み〉
各委員会の取り組みを紹介します。

- | | |
|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 代表委員会
あいさつ運動
「毎日、朝や休み時間にあいさつ運動をしています。」 | 図書委員会
いじめをなくそうポスター
「いじめのことをポスターに書いて、呼びかけてます。」 |
| 情報委員会
放送での呼びかけ運動
「いじめられた人は、悲しい気持ちになることを放送で呼びかけています。」 | 体育委員会
友達に優しくしよう週間
「校内をまわり、友達をやさしくしましょうと声かけをしています。」 |

〈取り組んでみて〉
いじめをなくそう運動を全ての委員会が取り組んで、全体的に学校の人達が明るくなったと思います。これからも「咲かせよう 笑顔の花」をテーマにいじめをなくそう運動に取り組んでいきたいです。

上芦別小学校

芦別市のホームページにいじめに関するページやいじめ問題対策連絡協議会のページを開設しています。トップページの『いじめ対策』からご覧いただけます。(芦別市ホームページURL: <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/>) こちらのQRコードから携帯電話・スマートフォンからご覧いただけます。



★ 芦別中学校 STOPいじめ 全校宣言(2016年2月)

お互いに良いところ悪いところを認め、
笑い合い、本音で話せる仲をつくる

取り組みの流れ

- 10月 『いじめをなくすために』
一人宣言を作成し、校内に掲示して生徒の意識を高める。
- 1月 『STOP いじめ学級協議』
一学年設定されるテーマをもとに各学級で話し合い、自分の考えを資料にまとめておく。
- 2月 ①『STOP いじめ座談会』
一全校生徒が縦割り班に分かれ、各自が学級協議の資料を持ち寄って発表し、討議を深める。
②『STOP いじめ全校集会』
縦割り班での討議内容を全体で交流し、執行部が最後全校宣言を発表する。

芦別中学校

いじめをなくそう！！

芦別市立啓成中学校

日常的な活動を通して、いじめを発生させないように取り組んでいます！！

取り組んだこと

- ・あいさつ運動
- ・目安箱
- ・全校集会



啓成中学校

平成28年度学力・学習状況調査の結果について

毎年4月に、文部科学省が児童生徒の学力や学習状況を把握し、課題を見つけ改善を図ることを目的として小学校6年生と中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しています。

平成28年度に実施した本市の調査結果については、次のとおりです。

子どもたちの学力は??

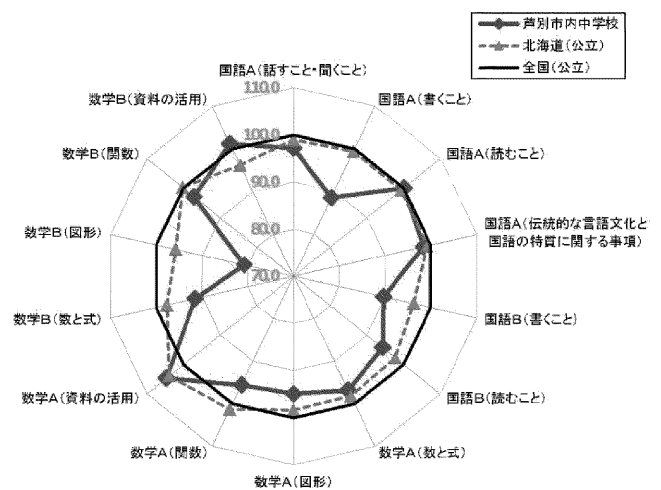
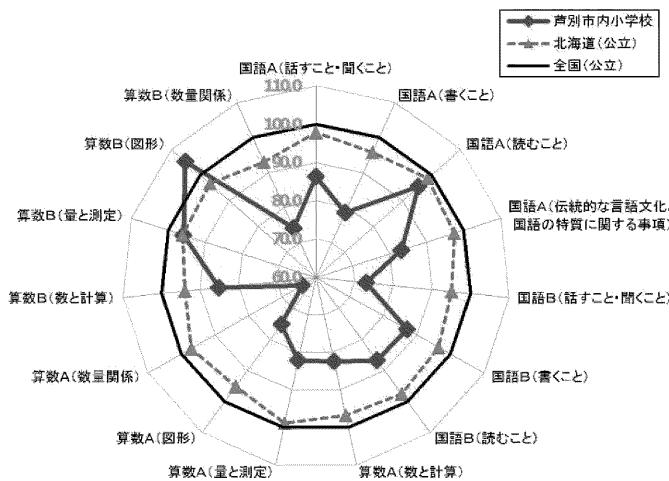
グラフは教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び芦別市の状況をレーダーチャートで示したものです。(芦別市の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出しています。)

【小学校6年生の教科全体の状況】

◎ 小学校6年生は、国語Aでは「読むこと」で全国平均正答率に最も近くなっているほか、算数Bでは「図形」が全国平均正答率を上回っていますが、これ以外については、全国平均正答率と比較して低い結果になっています。

【中学校3年生の教科全体の状況】

◎ 中学校3年生は、国語Aの「読むこと」及び数学A・Bの「資料の活用」で全国平均正答率を上回っていますが、これ以外については、全国平均正答率と比較して低い結果になっています。



学力向上、学習・生活習慣の改善への取り組み

本市では、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、子どもたちの学力向上、生活習慣改善のため、さまざまな取り組みを進めています。

- 家庭学習ノートや生活リズムチェックシートを活用し保護者と連携して家庭学習の充実や生活改善を図っています。
- 漢字検定・算数(数学)検定・英語検定の受検料を全額市で負担し、検定に向けて頑張る小・中学生を応援しています。(小学校3年生以上1年度1回)
- 授業改善の校内研修や、小中連携セミナーを開催し、講師を招き先生方の研修の充実を図りました。
- 英語暗唱大会や科学の甲子園等各種大会に参加を奨励し、喜びや意欲の向上を図りました。
- 学習サポート教員による「やさしいサポート教室」を実施し、夏・冬休みに子どもたちの学習を支援しています。
- 通学合宿や冬休みの学習会で芦別高校生のボランティアから学習指導を受け、先輩の姿から学習の大切さを学びました。
- 星槎大学から学習支援員の派遣を受け、困り感・つまずき感のある子どもへの支援を行っています。



やさしいサポート教室
芦別小学校区



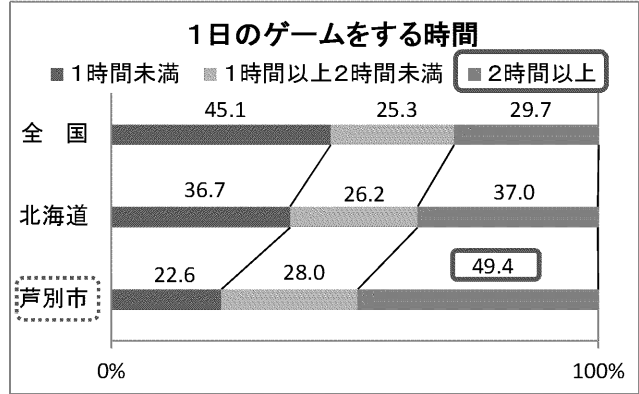
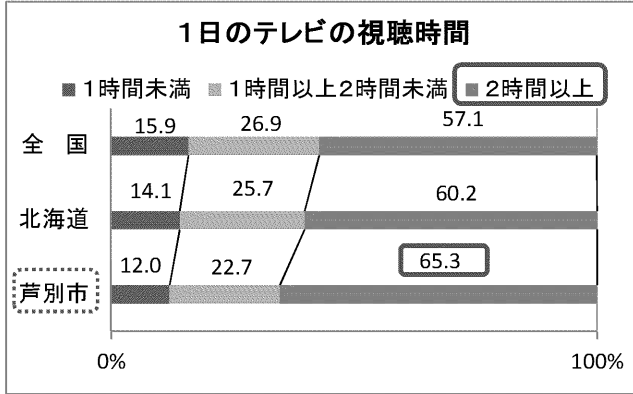
やさしいサポート教室
上芦別小学校区



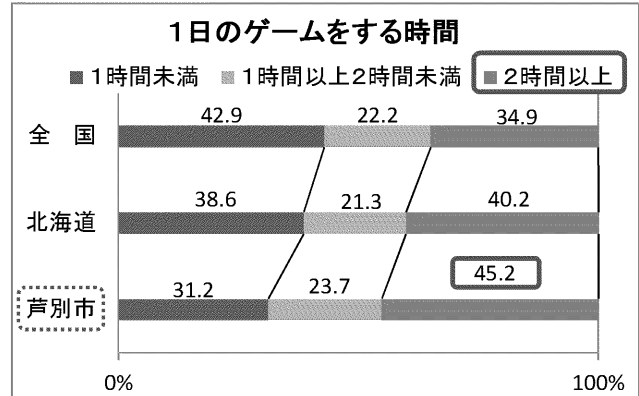
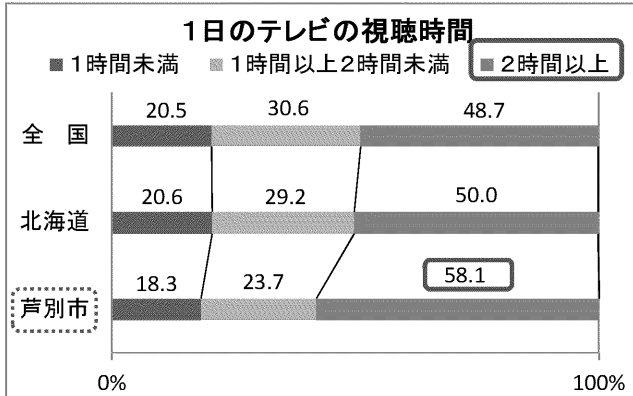
芦別高校生ボランティアによる学習指導

子どもたちの学習・生活習慣は??

1 小学校6年生の生活習慣



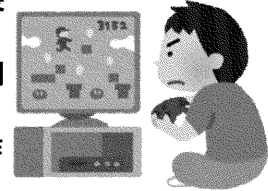
2 中学校3年生の生活習慣



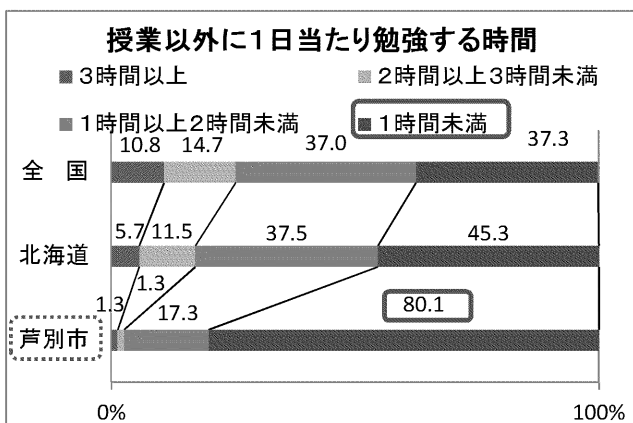
本市の子どもたちは、テレビを見る時間やゲームをする時間が全国に比べて長い傾向にあります。

また、5月の調査では、携帯電話やスマートフォンの所有率の増加やSNSの利用時間が長いことがわかっています。

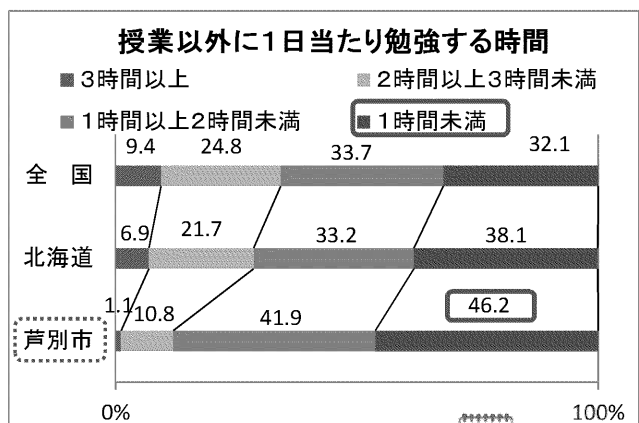
テレビやゲーム、スマートフォンなどの利用時間について『家庭でのきまり』を作り、親子が一緒になって改善していくことが大切です。



3 小学校6年生の学習習慣



4 中学校3年生の学習習慣



授業以外に、1日当たり1時間以上勉強する割合が、小学生、中学生ともに全国、全道に比べ低い状況にあります。家庭での学習時間の確保が必要です。



全国学力・学習状況調査結果の詳しい内容については、芦別市のホームページに掲載しております。

(芦別市ホームページURL: <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/>)

こちらのQRコードから携帯電話・スマートフォンからもご覧いただけます。→



この広報紙は、芦別市の教育の現状や課題、さまざまな政策や取組などを市民の皆さんに知っていただく、情報を共有化するものです。子どもたちの「生きる力」の向上に関するご意見を「郵送」、「フアックス」、「電子メール」(様式自由)にてお寄せ下さい。

小中連携の取り組みの状況をお知らせします

芦別市の小中連携の取り組みについては、今年度は、先進的な取り組みを行っている「空知管内沼田町」と「胆振管内豊浦町」に各学校の教職員及び教育委員会職員数名が、ともに11月に視察を行い、それぞれの町の小中連携の取り組みについて、授業公開、実践発表などを通して研修してきました。

また、1月12日には小中連携セミナーを開催し、視察を行った豊浦町の校長と教頭を講師に招き、各学校の教職員を対象に「豊浦町における小中連携・一貫教育の取り組みについて」をテーマに具体的な取組内容について講演をいただき、小中連携についての知識を深めました。

今後は引き続き小中連携協議会を核にして、これからの芦別市が目指すべき小中連携の将来像を定めるため、検討を進めていきます。



上:豊浦町での先進地視察、下:小中連携セミナー

学生生活を応援します！～市の奨学生を募集～

…平成29年4月以降の市の奨学金貸与額が最大月額6万円に拡充されます！…

○ 変更後の奨学金の貸与額及び償還年限

区分	変更前	変更後
貸与額	最大月額22,000円～30,000円 (毎年度予算の範囲内)	月額60,000円を超えない額 (毎年度予算の範囲内)
返還年限	10年以内	15年以内

○ 応募資格

- ① 芦別市に住所を有する方（本人または親）
- ② 大学（大学院を除く）、短期大学、高等専門学校（4年次及び5年次に限る）、専修学校（修業年限が2年以上に限る）に在学する方
- ③ 経済的理由で修学が困難な方
- ④ 学業優秀、性行善良で健康な方

○ 貸与方法

毎月末日までに、ご指定の口座に振り込みます。ただし、1回目の貸与については4月分から6月分を6月末日までに振り込みます。

○ 返還方法

卒業後6か月を経過した後、年2回（3月及び9月）で返還していただきます。

○ 願書等提出期日

- ・大学生、短期大学生、高等専門学校生、専修学校生 5月10日（水）
- ・専門学校北日本自動車大学校生 6月20日（火）



学校支援ボランティアを募集しています

現在、学校支援ボランティアとして、6団体1個人の方が登録し、登下校時の見守りのほか、スキー、柔道などの専門的な技術・知識に基づく指導をいただいています。

教育委員会では、放課後や夏・冬休みを利用した学習サポートや、本の読み聞かせをしていただける方など、さまざまな学習支援ボランティアを募集しています。

教育活動に係るボランティアに関心のある方は、教育委員会へご連絡ください。

